

伝授 初級免許皆伝

蠟燭足 秘録

第一商品

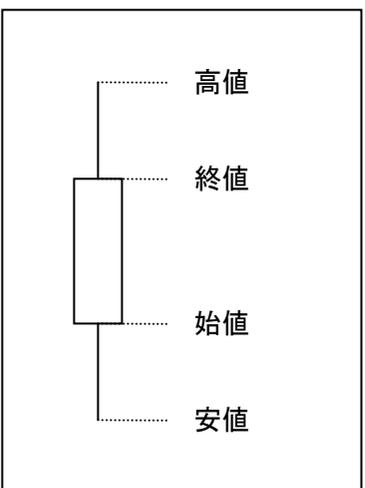
ローソク足（燭燭足）とは

江戸時代の米相場の羅針盤として生まれ、形がローソクに似ていることからこの名称で呼ばれています。

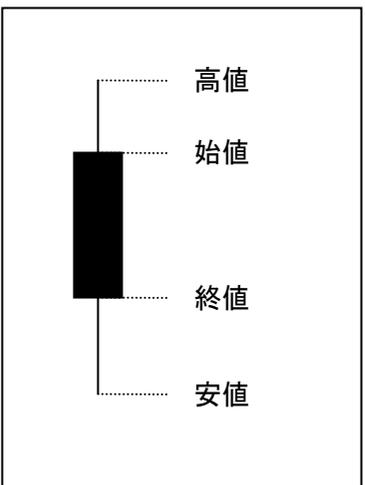
ローソク足の利点は一個の足で一日、又は一週間、一ヶ月間の始値、高値、安値、終値という4本値がすぐ分かる点です。

一日（又は一週間、一ヶ月間）のうちに始値や終値より高い値、安い値段があった場合には、実体部分から高値もしくは安値まで線を伸ばします。

〔図A〕



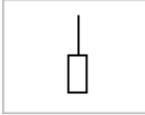
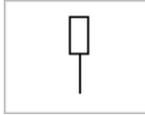
〔図B〕



終値が始値より高い場合を陽線（図A）、終値が始値より安い場合を陰線（図B）と呼びます。又、上に伸びた線は上影線（上ヒゲ）と呼び、下に伸びた線は下影線（下ヒゲ）と呼びます。

ローソク足の「あだ名」

ローソク足はそのヒゲの長さや形などから多くの種類があります。ここでは古くから「あだ名」がつけられているローソク足の「性質」をご紹介します。

| | | | |
|-----|---|----------|------------------|
| 其の一 |  | 陰の丸坊主 | 非常に弱いとされている線 |
| 其の二 |  | 陽の丸坊主 | 非常に強いとされている線 |
| 其の三 |  | 陰の大引け坊主 | 下値を暗示する弱い線 |
| 其の四 |  | 陰の寄り付き坊主 | 下値を暗示する弱い線 |
| 其の五 |  | 陽の寄り付き坊主 | 上値を暗示する強い線 |
| 其の六 |  | 陽の大引け坊主 | 上値を暗示する強い線 |
| 其の七 |  | 陰のコマ | 相場の持ち合いを表すもやや弱い線 |

其の八



陽のコマ

相場の持ち合いを表すもやや強い線

其の九



とんぼ

転換期を示唆する線

其の十



とうば

場が一休みすることを表す。転換か持ち合い

其の十一



足長同時足

攻防の分岐点、足が長い方が顕著

其の十二



陰のからかさ

転換を示唆、上に出れば売り、下に出れば買い

其の十三



陽のからかさ

転換を示唆上に出れば売り、下に出れば買い

其の十四



四値同時足

転換を示唆する。

ローソク足の組み合わせ

ローソク足は単体でも相場の判断は可能ですが、二つ、三つ以上の蠟燭足を組みあわせることにより、その確率が高まります。

其の一、 包み線

小さな陽線の次に大きな陰線が現われた状態を「包み線」と呼び、陽線↓陰線の場合は一気に売られたことを示し、上昇相場の終焉、下落を示唆しています。

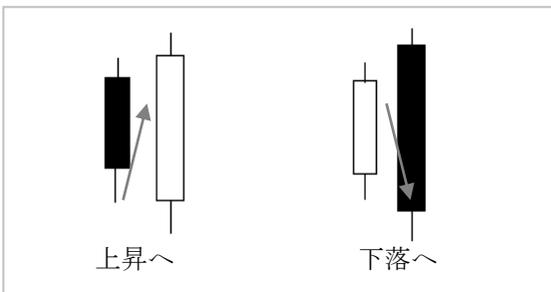
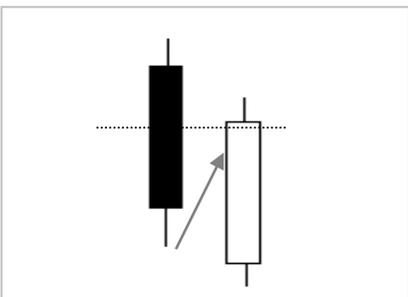
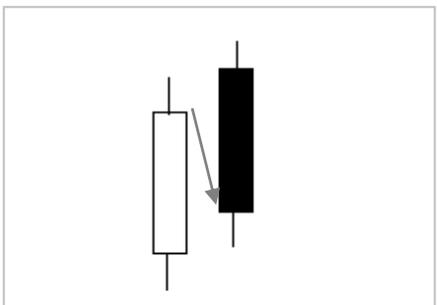
小さな陰線の次に大きな陽線が現われた場合、陰線↓陽線の場合、大量の買いが入ったことを示し、強気のシグナルになります。

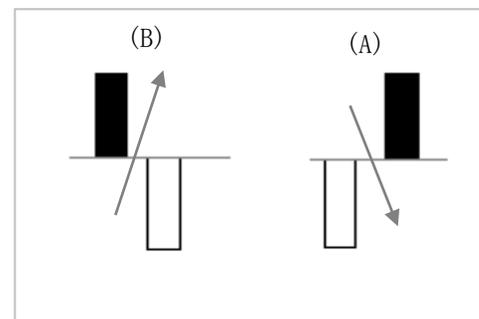
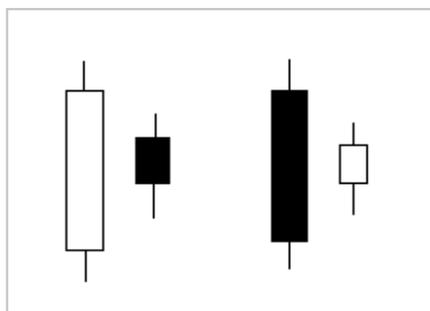
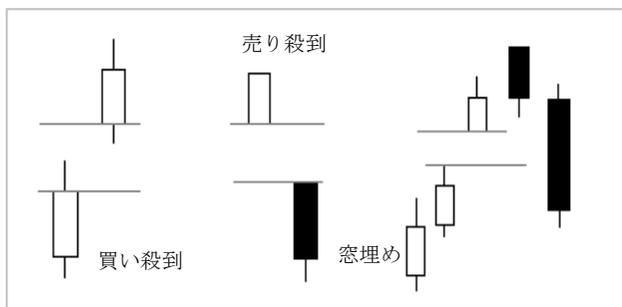
其の二、 切り込み線

長い陰線の次に、長い陽線が出現、且つその陽線のアマタマが陰線の真中より上にある状態を「切り込み線」と呼び、この形は底値で強力を買いが入ったことを現しています。強気のシグナルになります。

其の三、 かぶせ線

陽線の次に、陰線が上からかぶさるようになり突き出た状態を「かぶせ線」と呼びます。特にこの形が天井圏で現われると、大崩れのパターンとなります。





其の四、出合い線

二つのローソク足の下部と上部が丁度同じ位置にある状態を「出合い線」といい、(A)の場合は陽線のあるとに陰線が現われており下落を示唆します。反対に(B)の場合は陰線のあるとに陽線が現われており上昇を示唆します。

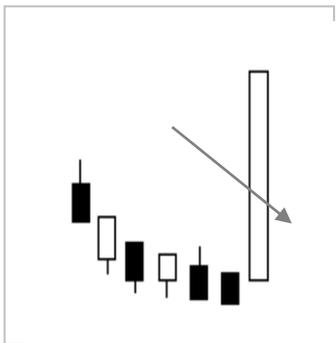
其の伍、はらみ線

「はらみ線」は前ページの「包み線」と逆の状態で、前日の値以内の値動きで終始したことを表し、売り方、買い方のせめぎ合いを物語っています。相場の転機が訪れる前兆といわれています。

其の六、窓(空)と窓埋め

「窓」とか「空」などと呼ばれ、これは前日の終値から大きくカイリして始まる形で、買い物殺到、又は売り物殺到の場合にでます。
又、窓が出た後はその空間を埋めに行くケースが多いとされています。

ローソク足による大底確認



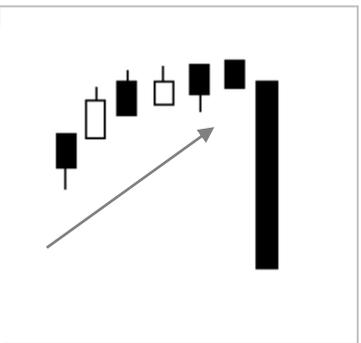
大陽線

下値が固まりつつある状況下での大きな陽線の出現は、相場の転機を示します。
陽線が大きいほど信頼性が高いとされます。
これは、それまで売り方が優勢の状態が一気に買い方が優勢に変わったことを意味し、出来高の増加をともなうてきます。

長い下ヒゲ

底値圏での長い下ヒゲは底打ちのサインとなる。相場が大きく下げた後の急落、急反発(下ヒゲ)は悪材料の出尽くしを意味し、売り物以上の買いエネルギーの出現を意味します。
当然出来高の急増をともないます。

ローソク足による天井確認



大陰線

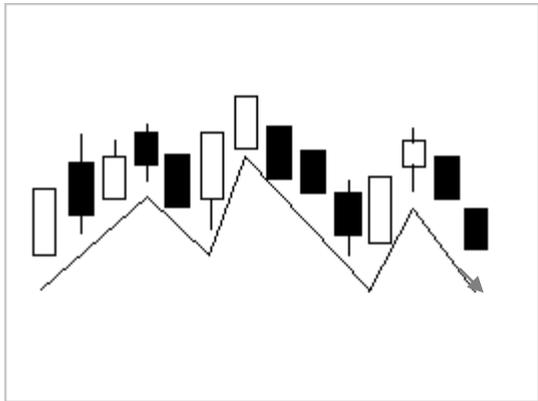
上値が固まりつつある状況下での大きな陰線の出現は、相場の転機を示します。
陰線が大きいほど信頼性が高いとされます。
大陽線と大陰線は相反します。

天井圏での長い上ヒゲは頭打ちのサインとなる。相場が大きく上げた後の急騰、急反発(上ヒゲ)は好材料の出尽くしを意味し、買い物以上の売りエネルギーの出現を意味します。
下ヒゲと上ヒゲは相反します。

「酒田五法」

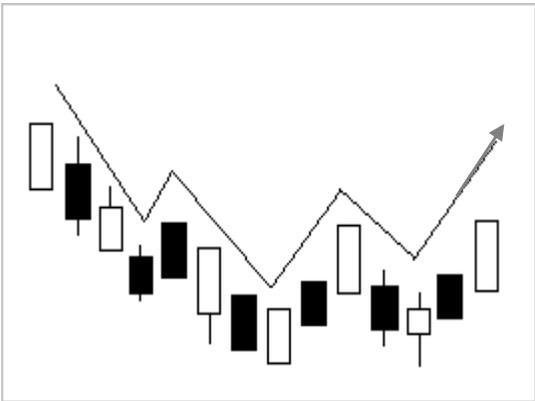
江戸時代に米相場で財をなした出羽の国、酒田（現在の山形県酒田市）の「本間宗久」が秘録した相場分析法です。

「五法」とは三山、三川、三空、三兵、三法の五つを言い、それぞれにくつかのローソク足の組み合わせがあります。以下は、その代表的なものをあげております。



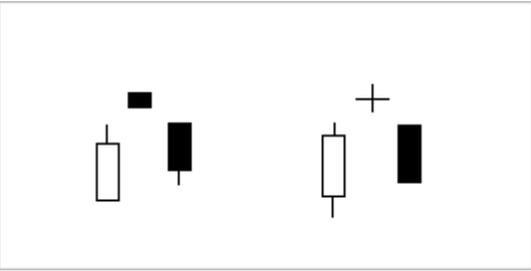
其の一 三山(三尊)

三山とは大天井を示唆する線で、三回上昇下落を繰り返し、二回目の山が一番高いものを言います。欧米でもトリプルトップ、ヘッドアンドショルダーと言います。天井を示唆する形とされています。列名の三尊とは仏像の配置からきており、中央に釈迦、右に文殊菩薩、左に普賢菩薩の形となっています。又この形を形成する過程において、出来高が時間の経過とともに減少してきているような場合は、典型的な天井のパタ



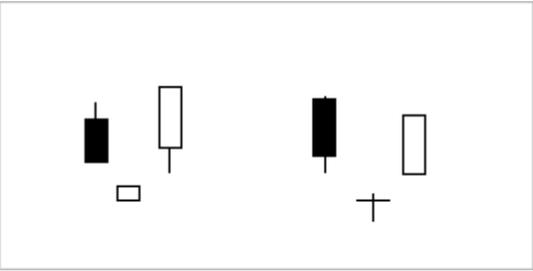
其の二 逆三山(逆三尊)

三山(三尊)とは全く逆のパターンで大底を表わします。三山も逆三山も形がきれいに出来上がるまでに時間がかかるが大きな流れの転換点であることが多いようです。



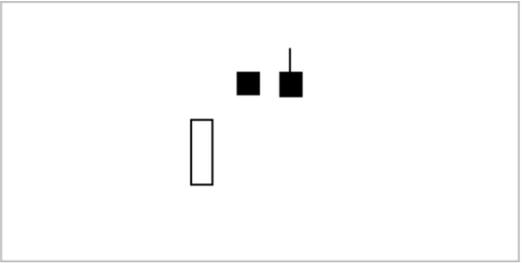
其三 三川宵の明星・又は、三川宵の十字星

三川宵の明星（さんせんよいのみょうじょう）というのは上昇の過程でこの形が生じると、売転換の絶対的シグナルとされています。保ち合い相場（行ったり来たり）の相場（のときは「捨て子を捨に行く」といって、星のところの窓埋めが起こることもありますが、新高値圏で起これば下落の前兆であることが多い。



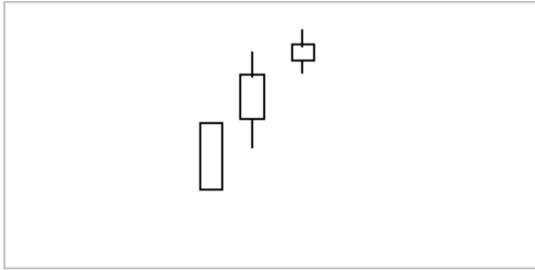
其の四 三川明けの明星・又は、三川明けの十字星

其の三の、三川宵の明星とは反対に下落過程で生じると絶対的買いシグナルとされています。



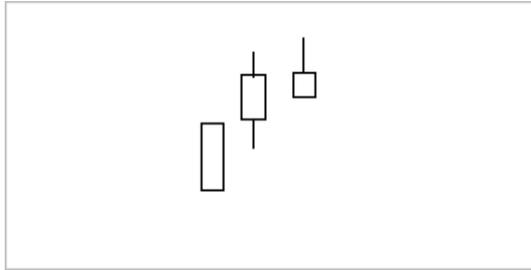
其の五 三川上放二羽鳥

鳥（カラス）は不吉な鳥とされ、陰線の黒と鳥の黒をかけて下げ相場の前兆とされています。これは、大陽線の後に短い陰線（コマ、十字を含む）を二本続けて引いたものです。其の三と同様に下落相場の始まりとされています。



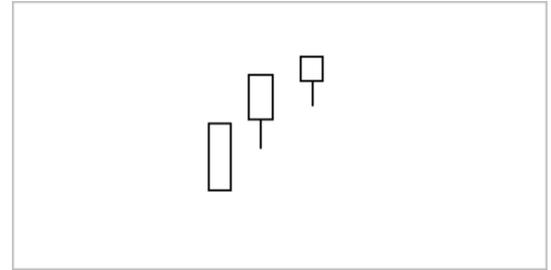
其の八 三兵思案星

三つめの線が「コマ」となるもの（十字も含む）は「赤三兵思案星」といい、相場の転換点に近いことを表わしている場合が多い。



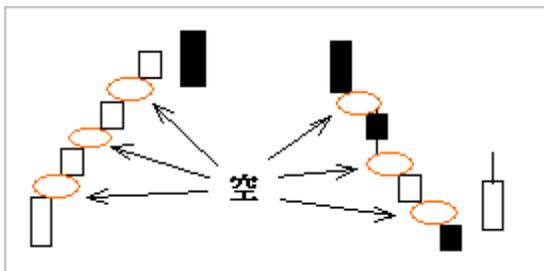
其の七 赤三兵先詰まり

同じ赤三兵でも上髭を引いているものは、「赤三兵先詰まり」といって、上昇力の鈍ってきた先詰まりの形とされています。



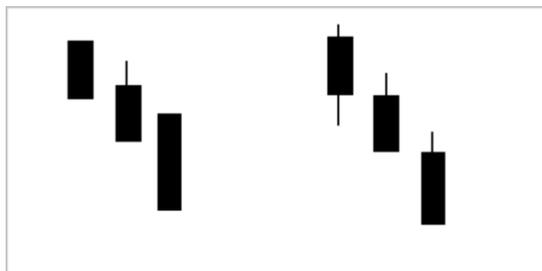
其の六 赤三兵

三兵というのは陽線なら陽線、陰線なら陰線が三本同じ方向に向かっているものをさします。高寄りはないが、確実に引け値を切り上げる形で陽線が三本続いた形を赤三兵といい、大きな上げ相場の前兆とされています。



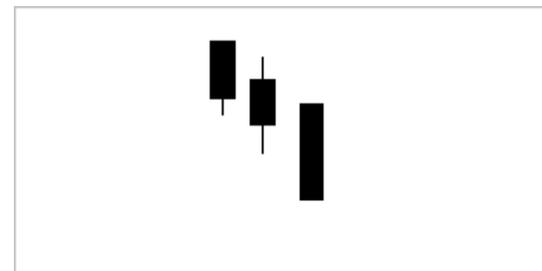
其の十一 三空

連続して三回空(窓)を開けるもので。上げ相場においては「三空上げに向かえ」と言い、売りのシグナルとなり、下げ相場においては「三空叩き込みには買い向かえ」と言われ、(叩き込み⇨下げ相場の三度目の空の後を言い買い方の総投げ、売り方の売りタタキが起きる事が多い)大底を形成する事が多い。



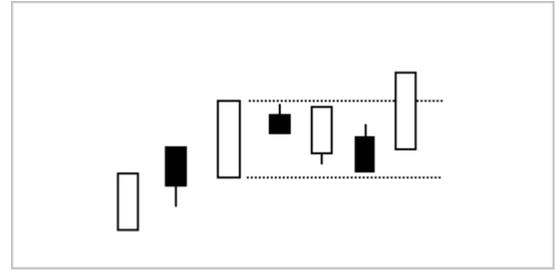
其の十 坊主三羽又は同時三羽

引け値が安値である事が三本続いたものを特に坊主三羽といい、特に弱い線とされています。前日引け値と当日寄り付きが同じ値段で引け値が安い、と言うパターンが続く事を同時三羽といい、三羽鳥の中でも特に弱い線とされています。



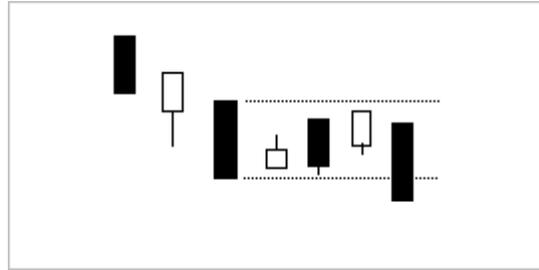
其の九 三羽鳥(黒三兵)

赤三兵の反対で典型的な下落相場始まりの形。陰線が三本続いたものをいいます。



其の十二 上げ三法

上昇過程において出現した大陽線のあとに、小さな陽線・陰線を孕み、大陽線の高値を坊主の陽線で抜けたものです。孕んだ小さな線は小休止を表し、大陽線の安値を支持線、上値を抵抗線とし、その抵抗線を抜けた形で、強い線と見られます。



其の十三 下げ三法

其の十二の上げ三法とは逆のパターンが下落過程においてみられるもの。弱い線と見られます。

本間 宗久

「本間様には及びもせぬが、せめてなりたや殿様に」とうたわれた江戸時代の日本の大地主、本間家当主の弟だった本間宗久は、江戸、大阪で米相場に挑み数々の成功をおさめ米相場の奥義を後の世に伝えた。

宗久は「出羽の天狗」の異名をとり当時の江戸町々では「酒田照る照る、堂島くもる、江戸の蔵前雨が降る」という俗諺が流行ったほどでした。

「トレンドの読み方」

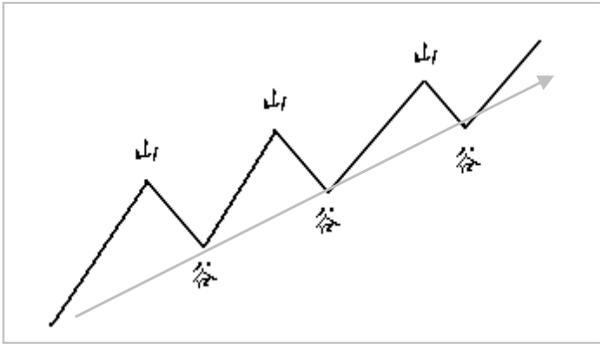
トレンドを重視した考え方は、欧米から伝わってきたと言われ、NYダウ平均の考案者、チャールズダウが元祖と言われています。

其の一、トレンドには上昇、下降、横ばいの三つのパターンがあります。

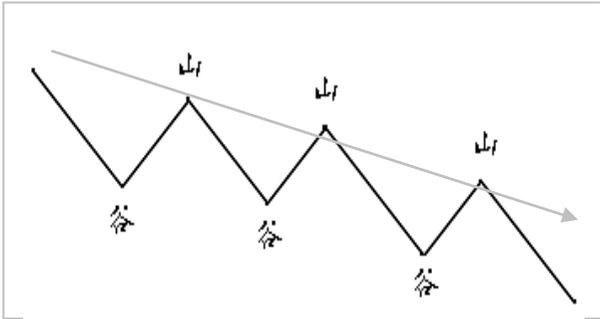
海辺にたつて波の動きをみていても、満ち潮、引き潮の区別はつきづらものです。さて波が寄せてきた手前に線を引いてみると、引き潮のときは何本も線を引くことが出来るはずで、又、満ち潮のときに引いた線は、すぐに波に消されていくはずで、

相場の流れに従って、左の図のような線を引いてみて下さい。これが相場の流れをみつける方法になります。

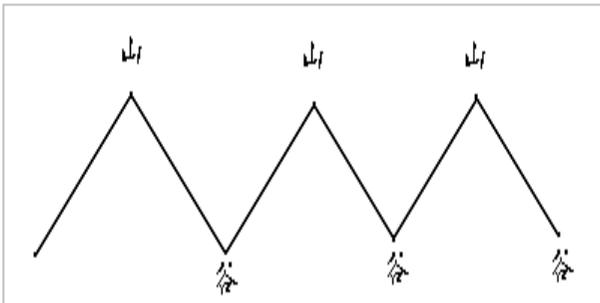
相場の複数の谷と山、山と山を透る線を引くことで相場の大勢を見分けようとするものです。



上昇トレンド

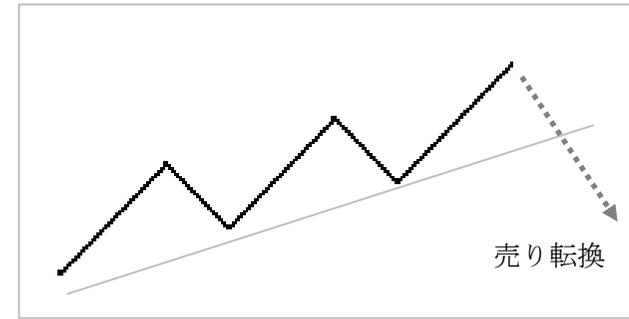


下降トレンド



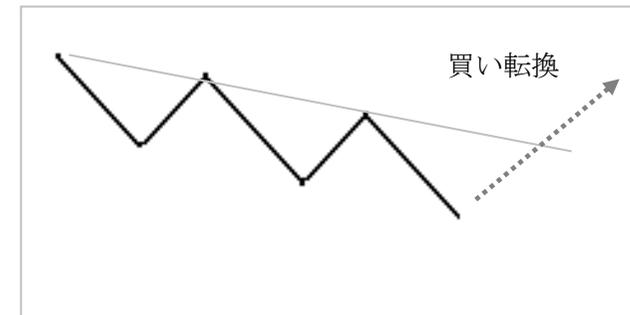
横ばいトレンド

其の二、トレンドの転換を探る



(A) 上昇トレンドからの転換

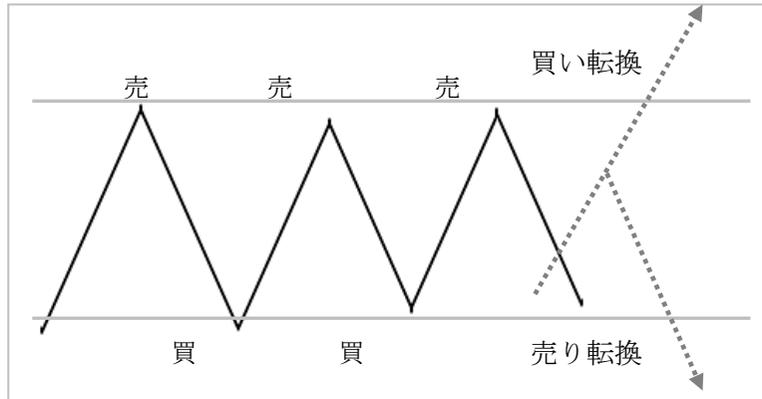
下値切り上げが続いた後、下値ラインを大きくしたまわった場合



(B) 下降トレンドからの転換

上値切り下げが続いた後、上値ラインを大きく上回った場合

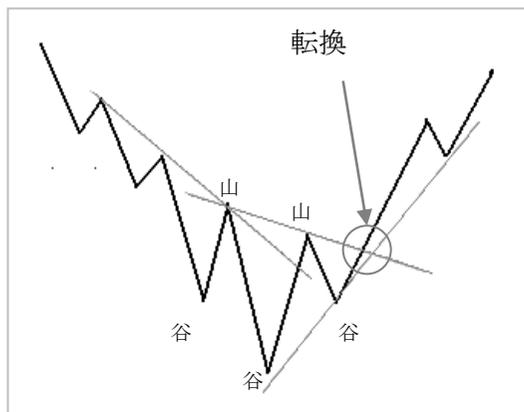
其の三、横ばいからの転換



横ばいでの推移は上値抵抗線と下値抵抗線ではさまれた一定のゾーンでの売買が可能とされます。ただし横ばいでの推移だったのがどちらかに離れ場合は、トレンドが転換したことが、読み取れます。横ばい圏から離れるタイミングに注意を払おう。上下抵抗線を引き、流れの転換を読むことも大切です。

大底の買い場進求

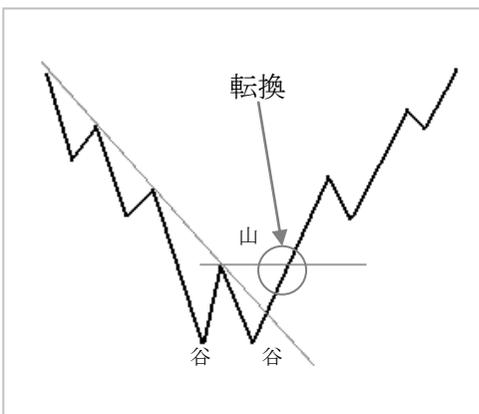
逆三山 (トリプルボトム、逆ヘッドアンドショルダー)



逆三山とは大底を示唆する線で、三回下落上昇を繰り返して、二回目の谷が一番深いものを言います。改米でもトリプルボトム、逆ヘッドアンドショルダーと言い、大底を示唆する形とされています。

底値圏での山と山を結ぶラインを上回ることで下降トレンドが上昇トレンドに転換したことが確認できます。

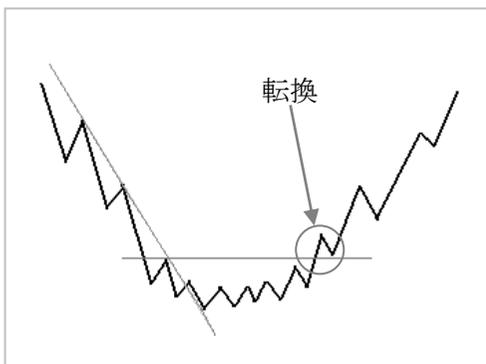
二点底 (ダブルボトム)



二点底とは、大底を二回にわたってつけた形で、谷、山、谷の山に水平に引いた線を抜いた状態で上昇トレンドに転換したことが確認できます。

二点底は改米では、ダブル底とよばれます。

なべ底 (ソーサボトム)

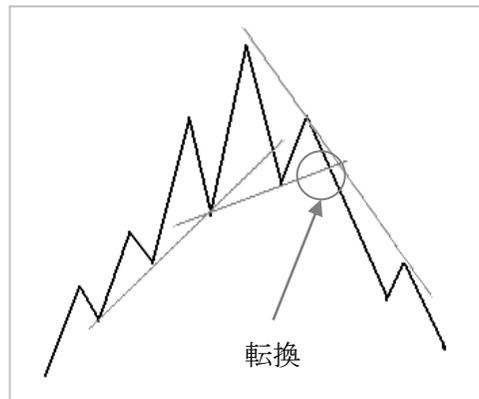


なべ底とは、山と谷が次第に小さくなり、全体としてなべの底のように滑らかな底を形成する。改米ではソーサボトムと呼ぶ、ソーサとは皿のことです。

なべのふちを上回った状態で上昇トレンドに転換したことを確認できます。

大天井の売り場進求

三山（トリプルトップ、ヘッドアンドショルダー）

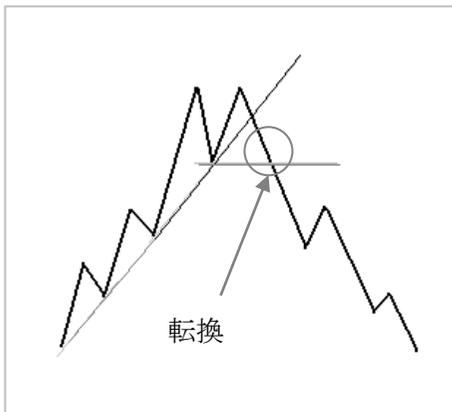


三山とは天井を示唆する線で、三回上昇下落を繰り返して、二回目の山が一番高いものがあります。政米ではトリプルトップ、ヘッドアンドショルダーと言います。大天井を示唆する形とされています。

三山と逆三山は相反します。

天井圏での谷と谷を結ぶラインを下回ることで下降トレンドに転換したことが確認できます。

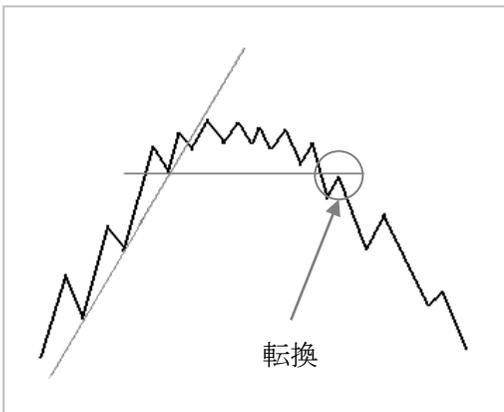
二点天井（ダブルトップ）



二点天井とは、天井を二回にわたってつけた形で山、谷、山の谷に水平に引いた線を下回った状態で下降トレンドに転換したことが確認できます。

二点天井と二点底は相反します。

ソーサトップ

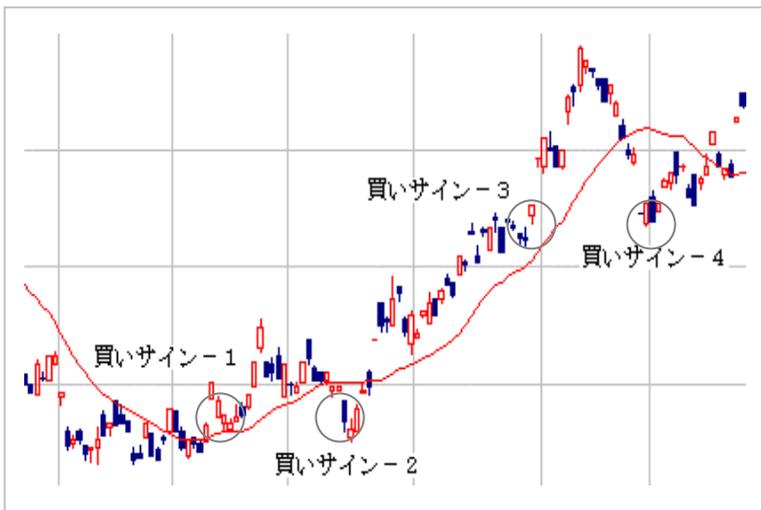


ソーサトップとは、山と谷が次第に小さくなり、全体として皿をひっくり返したような滑らかな天井が形成されます。

皿のふちを下回った状態で下降トレンドに転換したことを確認できます。

移動平均線

移動平均線を用いた具体的な売買判断の方法としてグランビルの法則（米国のチャート分析家J・E・グランビルによるトレンドの法則）が有名です。この方法は値段と移動平均線の位置関係に着目したもので、売り・買いのポイントが八つにまとめられています。



【買い信号一】

移動平均線が下降を続けた後に、横ばい、もしくは上向きかけている状態で、日足が移動平均線を上ぬいたとき。

【買い信号二】

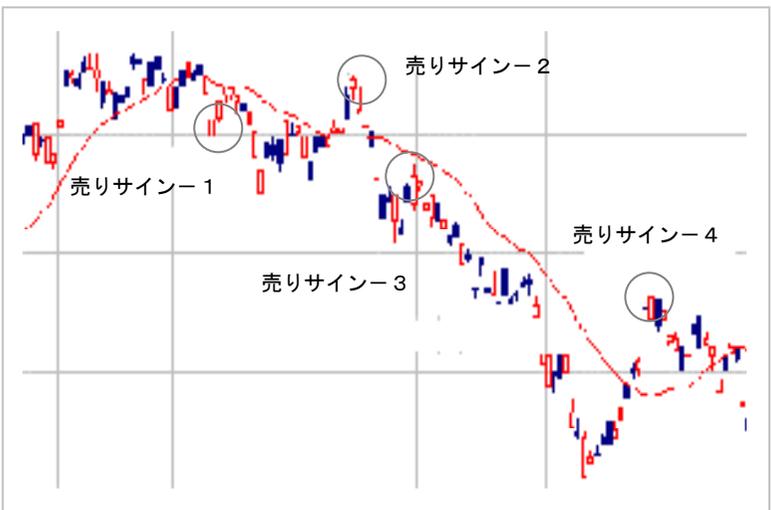
移動平均線が上昇しているときに、相場が移動平均を下回った場合。

【買い信号三】

上昇中の移動平均線にむかって相場が上方から下降してきたが、移動平均線を割り込むことなく再度上昇に転じたとき。

【買い信号四】

下降局面において下降しつつある移動平均線から、相場が大きくかけ離れて下落した場合（短期的な自律反騰が期待できる）



【売り信号一】

移動平均線が長期上昇の後で横ばい、もしくはは下降を開始し、相場が移動平均線から下放れたとき。

【売り信号二】

移動平均線が下降中に、相場がこれを上回ったとき。

【売り信号三】

下降中の移動平均線にむかって、相場が下方から上げてきても、突破せずに再び反落したとき。

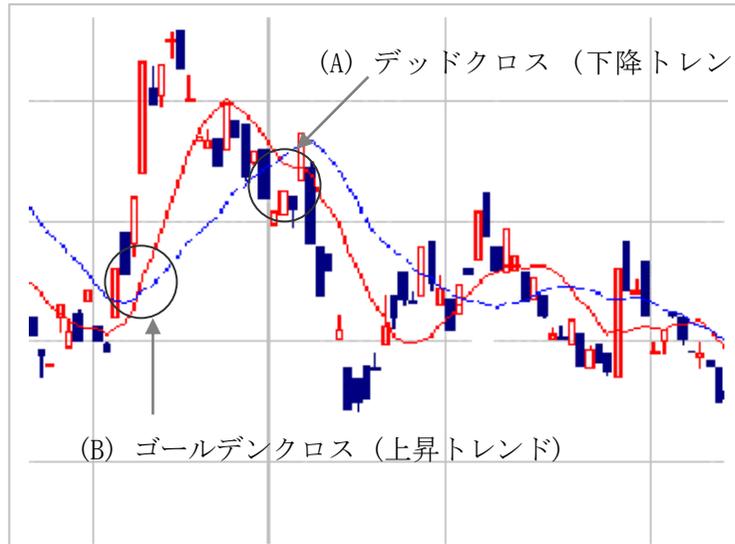
【売り信号四】

移動平均線が上昇中であっても、相場が大きくかけ離れて高騰した場合（短期的な自律修正の可能性が高い）。

ゴールデン・クロスとデッドクロス

値段と移動平均線の関係同様、短期の移動平均線と中長期の移動平均線の関係に注目した分析方法で、売買判断するものです。

相場の流れに逆らわず、中長期的なスタンスで相場をとらえようとする方法で、価格の流れに逆らわず上昇トレンドと判断すれば買い、下降トレンドと判断すれば売りといった最も一般的な方法です。



(A) 【売り信号】 デッドクロス
上昇を経て、短期線が長期線を下へ突破したとき

(B) 【買い信号】 ゴールデン・クロス
下降を経て、低迷する長期線の上へ短期線が突き抜けたとき

相場格言

「三猿金泉録」 牛田権三郎

三猿金泉録とは江戸時代の終わりに、相場の極意を伝授することを目的に、当時大阪堂島の米相場で活躍した相場師・牛田権三郎によって書かれました。三猿とは、見猿、聞猿、言猿の三なり。

序文

太極動きて陽を生じ、
動くこと極まりて、静なり。
静にして陰を生ず。
静なること極まりてまた動く。
一動一静、
皆天地陰陽自然の理なり。

眼に強変を見て、
心に強変の淵に沈むことなかれ。
ただ心に光をふくむべし。
耳に弱変を聞きて、
心に弱変の淵に沈むことなかれ。
ただ心に買いをふくむべし。
強変を見、聞くととも
人に語ることなかれ。
いえば人の心を迷わす。
これを猿の秘密なり。

米の高下も天地陰陽の回るごとく、
強気の功現れて、はなはだ高くなり、
上がる理極まればその中に弱気の理を含
む。
弱気の功露われば、はなはだ安くなれ
ば、
その中に弱気の理を含む。
万人の気、弱気は米上がるべき理なり。
諸人氣強気時は米下がるべきの種なり。
これを皆天地理外の理なり。

相場の暴騰を見ても、心を奪われて
は、いけません。常に心を平静にして、
逃げ売りを考えなさい。皆が強気なら
天井です。

又、相場の暴落を聞いても、心を奪わ
れては、いけません。常に心を平静に
して、果敢に買うことを考えなさい。
皆が弱気なら大底です。
情報を得ても、人に言っではいけませ
ん。
人の心を惑わすだけです。自分だけの
秘密にしなさい。

最後に

投資の成否のカギは、売買のタイミングです。まずは大勢の流れを確かめ、流れに逆らわず売買することが大切です。又、流れがつかめなときは、休むこともとても重要なことです。この冊子は、はじめての方にもわかりやすく、簡単に、解説した初級編です。まずはご研究を重ねて下さい。



<重要事項のご説明> ●金取引には、先物と現物があります。金は相場商品のため、価格が変動します。●商品先物取引は、取引額が当社必要証拠金に比べて最高でおよそ40倍と大きいため、短期間で大きな利益を得る可能性がある一方、お預り証拠金を上回る損失リスクがあります。又、相場変動により追加預託が必要となる場合もあります。お取引を始める前に契約締結前交付書面をよくお読みになり、取引内容を十分ご理解の上、ご自身の判断と責任によりお取引下さい。●平成29年9月1日現在、当社必要証拠金の最高額は150,000円、金の証拠金は99,000円（いずれも1枚当り）です。手数料は最高で24,840円（1枚当り・税込）です。詳しくはその都度ご確認下さい。●当社の企業情報は本・支店、HP、日本商品先物取引協会のHPでご覧になれます。●お客様の個人情報には当社取扱商品やサービス・イベント等のご案内の他、当社の利用目的の範囲内で利用させて頂きます。●セミナーでは当社取扱商品のご案内やご説明をさせて頂く場合があります。●当社お客様相談窓口 0120-770-266 日本商品先物取引協会相談センター 03-3664-6243
第一商品株式会社 〒150-0045 東京都渋谷区神泉町9-1 東京証券取引所 JASDAQ 市場上場企業
(銘柄コード8746) 商品先物取引業者[日本商品先物取引協会 会員]